

## ネーミング規約

[illegible]

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

## 目次

## 1. 前提

- (1) 目的
- (2) 前提事項
- (3) 用語説明
- (4) 適用範囲
- (5) 制限事項

## 2. 共通命名規則

## 3. IIS関連

- (1) Webアプリケーション(仮想アプリケーション)名
- (2) Webサブアプリケーション(仮想ディレクトリ)名

## 4. 名前空間

## 5. Visual Studio 2010

- (1) ソリューション名
- (2) プロジェクト名

## 6. 各種ファイル名

- (1) アセンブリ名
- (2) RCW名
- (3) 厳密名(キーファイル)
- (4) 開発ソースファイル

## 7. クラス名

- (1) 通常クラス
- (2) Webフォームクラス (Webアプリケーション)  
／ビュークラス (MVCアプリケーション)  
／マスターページクラス (Web・MVCアプリケーション)

- (3) コントローラークラス (MVCアプリケーション)

- (4) 例外クラス

- (5) カスタム属性クラス

- (6) イベント引数クラス

- (7) テストクラス

## 8. インターフェース

## 9. ジェネリック型パラメータ

## 10. デリゲート

## 11. 構造体名

## 12. 定数名

## 13. フィールド名

- (1) 通常フィールド
- (2) 依存関係プロパティ用静的フィールド (WPF/Silverlight)
- (3) ルーティングイベント用静的フィールド (WPF/Silverlight)

## 14. 変数名

## 15. プロパティ名

## 16. メソッド名

- (1) イベントプロシージャ (Webアプリケーション)
- (2) コントローラークラスのアクションメソッド (MVCアプリケーション)
- (3) その他のメソッド

## 17. イベント名

## 18. パラメータ名(メソッド)

## 19. アプリケーション状態管理

- (1) セッション名
- (2) キャッシュ名
- (3) ViewState名

## 20. HTML記述

参考：ヘボン式ローマ字表記について

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

## 1. 前提

## (1) 目的

本規約を遵守することにより、重複を防ぎ、資源管理を容易にすることを目的とする。  
また、その名前から機能を連想させることにより検索性を高め、資源の利用者の使い勝手を向上させることを目的とする。

## (2) 前提事項

特になし

## (3) 用語説明

- 名前空間 : 命名規則とアセンブリを組み合わせたもので、オブジェクトのコレクションを整理し、オブジェクト参照のあいまいさを防ぐ働きをするもの。
- セクション名 : 保守単位となるチームを識別する名称で、名前空間に使用する。  
原則 30 文字以内で設定する。
- セクション名略称 : セクション名の略称で、アセンブリ名などに使用する。  
5文字以内で設定する。
- ※ 「セクション名」および「セクション名略称」については基盤で管理するため、既定のフォーマットに従い申請すること。  
また申請済みのものについては「ネームスペース管理台帳」にて管理されている。
- Pascal 方式 : 識別子の最初の文字と、後続する各単語の最初の文字を大文字にする書式。  
[例] BackColor
- Camel 形式 : 識別子の最初の文字は小文字にし、後続する各単語の最初の文字を大文字にする書式。  
[例] backColor
- Webアプリケーション : 関連性の高い業務(または組織)を仮想アプリケーションとしてまとめたもの。
- Webサブアプリケーション : 関連性の高いサブ業務を仮想アプリケーション直下の仮想ディレクトリとしてまとめたもの。

## (4) 適用範囲

本規約は、新規開発アプリケーション(.NET/C++)を対象にしている。  
ただし、移行系アプリケーション(リコンパイルのみ含む)に関しては、旧規約に順ずるものとする。  
※ DB関係のネーミング規約は「(DB基盤提供ドキュメント)」に準拠する。  
※ PowerShellに関連するネーミング規約については「スクリプト規約」の内容も参照のこと。

## (5) 制限事項

特になし

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

## 2. 共通命名規則

本規則は、ネーミングに関する全ての項目に対して、共通的に適用されるものである。

識別子の名前はその意味や機能が直感的に分かるもの、且つ混同の恐れのないものにする。

識別子の中で安易に数字を使用しない。

識別子に”.(ドット)”を使用しない。

VB. NET/C#等の予約語は使用しない。

識別子の中で使用するローマ字はヘボン式に従う (⇒「参考：ヘボン式ローマ字表記について」参照)

汎用的な単語と適切な長さにする。

単語は基本的に英語を用いることとするが、業務用語など英語での表記が難しい場合は日本語のローマ字表記で良い。

仕様書などのドキュメント類を除いて、名称に2バイトコード(漢字)は使用しない。

「\_ (アンダースコア)」や「- (ハイフン)」は使用しない。

**※ 自動生成されたイベントプロシージャ名に含まれるアンダースコアは例外とする。**

以下に種別ごとの書式を示す。

## ア.Pascal式

- ・ 名前空間
- ・ ファイル名
- ・ アセンブリ名
- ・ RCW名
- ・ 厳密名
- ・ クラス名
- ・ インターフェース名
- ・ ジェネリック型パラメータ
- ・ デリゲート名
- ・ 構造体名
- ・ 定数名
- ・ プロパティ名
- ・ メソッド名
- ・ イベント名
- ・ セッション名
- ・ キャッシュ名
- ・ ViewState名

## イ.Camel式

- ・ フィールド名
- ・ 変数名
- ・ パラメータ名

## ウ.その他(例外パターン)

- ・ 自動生成されたイベントプロシージャ名

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

### 3. IIS関連

#### (1) Webアプリケーション(仮想アプリケーション)名

Webアプリケーション名の規約を以下に示す。  
 システム全般を示すようなプレフィックス  
 業務が想定しやすい文字列とする  
 全て半角小文字の英数字とする

#### (2) Webサブアプリケーション(仮想ディレクトリ)名

Webサブアプリケーション名の規約を以下に示す。  
 システム全般を示すようなプレフィックス  
 サブ業務が想定しやすい文字列とする  
 全て半角小文字の英数字とする

### 4. 名前空間

基本名前空間は、以下のフォーマットに従うこと。

[例] 基盤(セクション名:Kiban)の基本名前空間

また、セクション名に対して、さらにサブセクションを定義可能とする。  
 ※ サブセクションに関しては、各グループにて管理すること。

[例] 基盤(セクション名:Kiban)のサブセクションとして、「Log」を作成した場合の基本名前空間

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

5. Visual Studio 2010

(1) ソリューション名

代表プロジェクトを選定しソリューション名として使用する。  
※ ソリューションに種類の異なるプロジェクトが含まれる場合には、優先順位を「Webアプリケーション」>「Windowsアプリケーション」>「クラスライブラリ」とする。  
※ 資源登録前にチーム内でソリューション名が他と重複していないことを最終的に確認すること。

[例1] ソリューションに「クラスライブラリ」と「クラスライブラリ」があり、  
「クラスライブラリ」を代表クラスライブラリとした場合のソリューション名

[例2] ソリューションに「Webアプリケーション」と  
「クラスライブラリ (SampleLibrary)」がある場合のソリューション名

(2) プロジェクト名

アセンブリ名をプロジェクト名として使用する。  
※ 「プロジェクト名」には、Webアプリケーション、MVCアプリケーション、  
Windowsアプリケーション、クラスライブラリ等のVisual Studio 2010標準のプロジェクトテンプレートを含む。

6. 各種ファイル名

(1) アセンブリ名

ア 通常のアセンブリ名

	セクション名省略文字	識別子	.	dllまたはexe
--	------------	-----	---	-----------

[例]

イ テストアセンブリ名

テスト対象のアセンブリ名に、サフィックス”\_\$\_UT\$”を付加する。

対象アセンブリ名	_\$_UT\$	.	dll
----------	----------	---	-----

[例]

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

## (2) RCW名

DLL名に半角大文字の拡張子 (. RCW, DLL) を付加する。

※ 移行開発で、Visual Studio 2010で自動生成されたOCX関連のRCWに関しては、変名せずにそのまま利用すること。

DLL名	.	RCW	.	DLL
------	---	-----	---	-----

[例] CYSAMPLE. **RCW**. DLL

## (3) 厳密名 (キーファイル)

厳密名のキーファイル名は、アセンブリ名に半角小文字の拡張子 (. snk) を付加する。

対象アセンブリ名	.	snk
----------	---	-----

[例] LogOutput. **snk**

## (4) 開発ソースファイル

ア.aspx/ascx/asmx/master/htm

※ HTMLファイルの拡張子は「htm」とする。

	セクション名省略文字	識別子	.	拡張子
--	------------	-----	---	-----

[例] JimuKokyakuList.aspx

イ.vb/cs

Publicクラス名を使用する。

※ ただし、「Webアプリケーション」のコードビハインドファイルについては、aspxファイルを作成すると自動的に作成されるため変名しないこと。

[例] JimuKokyakuList.aspx  
 ↳ JimuKokyakuList.aspx.vb (コードビハインドファイル)

ウ.コントローラークラスのPartial (MVCアプリケーション)

対応するView (aspxファイル) 名に、サフィックス "**Model**" を付加する。

対応するView名	Model	.	拡張子
-----------	-------	---	-----

[例] View名が「 JimuKokyakuList」の場合  
 ⇒ JimuKokyakuListModel.vb



ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

エ. js/css

① 画面個別

対応するaspx名を使用する。

対応するaspx名	.	拡張子
-----------	---	-----

[例] aspx名が「 JimuKokyakuList」の場合  
⇒ JimuKokyakuList. js

② 共通

	セクション名省略文字	Common	識別子	.	拡張子
--	------------	--------	-----	---	-----

[例] JimuCommonValidation. js

オ. 画像ファイル

他チームとファイル名が重複しないようにチーム個別の識別子を設け、ファイル名の先頭に付与する。  
※ JPEGファイルの拡張子は「jpg」とする。

チーム個別識別子	画像ファイル名	.	拡張子
----------	---------	---	-----

[例] チーム個別の識別子を「Common」とした場合  
⇒ CommonHeaderLogo. png

※ 使用可能な画像ファイルの拡張子については「View開発規約」を参照

カ. スクリプト（バッチ）ファイル（. bat/. ps1）

原則としてそのファイルから呼び出すアセンブリ名を使用する。

アセンブリ名	.	拡張子
--------	---	-----

[例] アセンブリ「 KibanScript. exe」を呼び出しているbatファイルの場合  
⇒ KibanScript. bat

スクリプト単体で使用するものなど、アセンブリと直接関連しないものについては以下に従うこと。  
また必要に応じて連番を付与してもよい。

	セクション名省略文字	識別子	.	拡張子
--	------------	-----	---	-----

※ 識別子にはそのバッチの機能が連想しやすいものを使用すること。

[例] KibanDeleteTempFiles01. bat

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

## キ その他のファイル

原則としてそのファイルを使用しているプロジェクト名またはクラス名を使用する。

※ 必要に応じて連番の使用を許可する。

プロジェクト名またはクラス名	.	拡張子
----------------	---	-----

[例] プロジェクト「KibanLogOutput」で使用しているxmlファイルの場合  
⇒ KibanLogOutput.xml

## 7. クラス名

## (1) 通常クラス

「名詞」、「名詞句」を使用して表現し、プレフィックス（クラスを意味する”C”、“cls”、“class”など）を付加しない。

[例] ホストオンラインクラス  
⇒ HostOnline

## (2) Webフォームクラス（Webアプリケーション）／ビュークラス（MVCアプリケーション）／マスターページクラス（Web・MVCアプリケーション）

ファイル名をクラス名として使用する。

[例1] JimuKokyakuList.aspx  
⇒ JimuKokyakuList

[例2] KibanWebMaster.master  
⇒ KibanWebMaster

## (3) コントローラークラス（MVCアプリケーション）

サフィックス”Controller”を付加する。

※ Visual Studio 2010でコントローラーを作成すると自動的に付加されるサフィックスのため変更しないこと。

※ コントローラーはWebサブアプリケーションに相当するため、システム全般を示すようなプレフィックス（「meijiyasuda」、「」等）は付加しない。

[例] KokyakuListController

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

(4) 例外クラス

サフィックス” **Exception**” を付加する。

[例] Read**Exception**

(5) カスタム属性クラス

サフィックス” **Attribute**” を付加する。

[例] Access**Attribute**

(6) イベント引数クラス

サフィックス” **EventArgs**” を付加する。

[例] AssemblyLoad**EventArgs**

(7) テストクラス

テスト対象のクラス名に、サフィックス” **Test**” を付加する。

[例] JimuKokyakuList**Test**

8. インターフェース

「名詞」、「名詞句」または「形容詞」を使用して表現し、プレフィックス” **I**” を付加する。

[例] ホストオンラインインタフェース  
⇒ **I**HostOnline

9. ジェネリック型パラメータ

説明的な型パラメータ名には、プレフィックス” **T**” を付加する。

[例] **T**Session

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

10. デリゲート

イベントで使用する型の名前には、サフィックス” **EventHandler**” を付加する。

[例] AssemblyLoad**EventHandler**

イベントハンドラではない名前には、サフィックス” **Callback**” を付加する。

[例] AssemblyLoad**Callback**

11. 構造体名

共通命名規則以外に特に指定なし。

12. 定数名

共通命名規則以外に特に指定なし。

13. フィールド名

(1) 通常フィールド

「名詞」、「名詞句」を使用し表現する。

(2) 依存関係プロパティ用静的フィールド (WPF/Silverlight)

サフィックス” **Property**” を付加する。

[例] Source**Property**

(3) ルーティングイベント用静的フィールド (WPF/Silverlight)

サフィックス” **Event**” を付加する。

[例] Click**Event**

14. 変数名

変数の内容を表す「名詞」、「名詞句」を使用し表現する。  
※ 変数の型を表すプレフィックス (obj、strなど) は使用しない。

[例] objTicket     . . .   × (プレフィックス「obj」が付加されている為)  
   strFileName    . . .   × (プレフィックス「str」が付加されている為)  
   ticket         . . .   ○  
   fileName       . . .   ○

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

## 15. プロパティ名

「名詞」、「名詞句」または「形容詞」を使用し表現し、値を設定・取得するフィールドに関連付けられた名称にする。  
ブール型のプロパティの名前には、肯定的な名前を使用する。

[例] CantFocus    . . .    ×  
CanFocus        . . .    ○

ブール型のプロパティには、有益な場合にのみ **"Is"** や **"Has"** などのプレフィックスを付加する。

## 16. メソッド名

### (1) イベントプロシージャ (Webアプリケーション)

「名詞」または「名詞句」で始まる文言を使用し、サブプロシージャ名としてイベントを想定させる「動詞」または「動詞句」を使用する。  
「名詞」「名詞句」は、オブジェクト名称が望ましい。

※ 原則としてアンダースコア ( " \_ " ) の使用は禁止だが、Visual Studioによって自動生成されたものは例外として認める。

[例] オブジェクト名称が " btnSeach " のクリックイベントを記述する場合  
⇒ **btnSearch\_Click**

### (2) コントローラークラスのアクションメソッド (MVCアプリケーション)

コントローラークラスのリクエストの入り口となるメソッド名はこのメソッド名から、NetFrameworkが出力先のaspxを特定するためデフォルトで出力するView (aspxファイル) の名前と一致させる。

[例] JimuKokyakuList.aspx をデフォルトで出力する場合のメソッド名  
⇒ JimuKokyakuList

### (3) その他のメソッド

「動詞」または「動詞句」で始まる文言を使用し表現する。  
可能かつ適切な時は既存の類似クラス、特に、NET Frameworkクラスライブラリで使用されている名前をもとにつける事が望ましい。  
なお、クラス名と同名のメソッド名は不可とする。  
オブジェクトを他の形式に変換するメソッドは接頭詞として **"To"** を使用する。

[例1] ホストオンライン呼び出しメソッド  
⇒ **Call**HostOnline

[例2] ファイル名を文字列に変換するメソッド  
⇒ **ToString**FileName

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

17. イベント名

「動詞」または「動詞句」を使用する。

18. パラメータ名(メソッド)

共通命名規則以外に特に指定なし。

19. アプリケーション状態管理

(1) セッション名

プレフィックスとして「Webサブアプリケーション名」を付加する。  
識別子は、Webサブアプリケーション内で重複しないように、チーム内で適切に管理を行うこと。  
**※ 認証基盤で利用するプレフィックス「AZFA」（現行と同様）は予約語扱いとする。**

Webサブアプリケーション名	識別子
----------------	-----

[例] Webサブアプリケーション名が「Sekkeisho」で識別子が「SampleSession」の場合  
⇒ SekkeishoSampleSession

(2) キャッシュ名

プレフィックスとして「Webサブアプリケーション名」を付加する。  
識別子は、Webサブアプリケーション内で重複しないように、チーム内で適切に管理を行うこと。  
**※ Cache を使用する場合は、基盤に申請すること**

Webサブアプリケーション名	識別子
----------------	-----

[例] Webサブアプリケーション名が「Sekkeisho」で識別子が「SampleCacheData」の場合  
⇒ SekkeishoSampleCacheData

20. HTML記述

(1) class属性

css等に使用するclass属性の値は全て小文字とする。  
利用するcss内で意図しない重複が発生しないように、適切に命名すること。  
**※ 基盤共通部品で利用するプレフィックス「kiban」は予約語扱いとする。**

[例] class="sampleclass"

ネーミング規約	プロジェクト名		グループ名		版	作成日	作成者
	案件名		サブシステム名		1.0	2011/12/14	FJ)泉
					1.3	2012/11/28	FJ)泉

参考：ヘボン式ローマ字表記について

ローマ字を使用する際は右記のヘボン式ローマ字表に従う。  
また、撥音・促音・長音については下記に従う。

(1) 撥音

「ん」は「n」で表すが、「n」の後に続く文字が「b」「m」「p」の場合には「n」の代わりに「m」を用いる。

例) 難波 (なんば) Nanba ⇒ Namba  
本間 (ほんま) Honma ⇒ Homma  
寒波 (かんば) Kanpa ⇒ Kampa

(2) 促音

小さい「っ」は、その次の文字を重ねて表す。

例) 吉川 (きっかわ) ⇒ Kikkawa  
服部 (はっとり) ⇒ Hattori

ただし、チ (chi)、チャ (cha)、チュ (chu)、チョ (cho) の場合は、前に「t」を加えます。

例) 八町 (はっちょう) ⇒ Hatcho

(3) 長音

のばす音は省略する。

例) 太郎 (たろう) Tarou ⇒ Taro  
太田 (おおた) Oota ⇒ Ota  
裕子 (ゆうこ) Yuuko ⇒ Yuko

ヘボン式ローマ字表

あ	い	う	え	お・おう			
a	i	u	e	o			
か	き	く	け	こ・こう	きゃ	きゅ・きゅう	きよ・きょう
ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
が	ぎ	ぐ	げ	ご・ごう	ぎゃ	ぎゅ・ぎゅう	ぎよ・ぎょう
ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
さ	し	す	せ	そ・そう	しゃ	しゅ・しゅう	しよ・しょう
sa	shi	su	se	so	sha	shu	sho
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ・ぞう	じゃ	じゅ・じゅう	じよ・じょう
za	ji	zu	ze	zo	ja	ju	jo
た	ち	つ	て	と・とう	ちゃ	ちゅ・ちゅう	ちよ・ちょう
ta	chi	tsu	te	to	cha	chu	cho
だ	ぢ	づ	で	ど・どう			
da	ji	zu	de	do			
な	に	ぬ	ね	の・のう	にゃ	にゅ・にゅう	によ・にょう
na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
は	ひ	ふ	へ	ほ・ほう	ひゃ	ひゅ・ひゅう	ひよ・ひょう
ha	hi	fu	he	ho	hya	hyu	hyo
ば	び	ぶ	べ	ぼ・ぼう	びゃ	びゅ・びゅう	びよ・びょう
ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ・ぽう	ぴゃ	ぴゅ・ぴゅう	ぴよ・ぴょう
pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo
ま	み	む	め	も・もう	みゃ	みゅ・みゅう	みよ・みょう
ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
や		ゆ・ゆう		よ・よう			
ya		yu		yo			
ら	り	る	れ	ろ・ろう	りゃ	りゅ・りゅう	りよ・りょう
ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
わ	を	ん					
wa	o	n					